

http://www.minamih.net/



11・4・16(土)
南NEWS NO 3

新学期が始まって2週間目が過ぎました。今、3年生の算数を教えていますが、2年生の時に先生を手こずらせていた子が一所懸命学習に取り組んでいます。最初の授業では4度も手を挙げ、3度も発言をしました。友達の意見をよく聴いて、「○○君と同じ意見」と言って発言することもできました。子どもなりの心機一転なのです。今が大事です。お子さんにめあてをもたせて取り組ませ、応援してあげてください。勉強もサッカーも同じです。保護者会の時期です。教室の後ろの黒板には、子ども達の1学期のめあてが掲示してあるはずですが、しっかりメモして帰り、お子さんと話題にするのもいいですね。サッカーでも自分のめあて、チームのめあてをもつことを大切にしています。達成に向けて努力する中で成長が期待できるからです。時々、GAMBANOTEも見せてあげてください。

2011年4月3日 新5年生 对白百合練習試合 (於:文化大グラウンド)

◎チームのめあて:受け手の声、ワンツー・オーバーラップを使う

南八王子1-0白百合(前半0対0) 得点者:小山君

新5年生になって初めての試合。相手は強豪白百合FCでした。試合が始まると平山君から小林君へのホットラインが機能し、キーパーと1対1となるシーンを数多く演出。もう一つの阿部君から赤田君のサイドを使った攻撃の形もよく出ていました。守備も森久保君が果敢に飛び込み無得点に抑えると、後半もこの形で粘り強く、と送り出しました。

開始早々鶴田君が惜しいシュートを放つなど後半もリズムが良く、守りの面では松宮君が広いカバー力で安定感を、また左サイドからのオーバーラップを成功するなど存在感を示していました。もう一人のサイドバック栗橋君も決定的なピンチには必ず顔を出してクリアし、粘り強くチャンスを待ちます。その粘りが実ったのは後半終了間際、小山君が平山君から渡ったパスをヘッドでゴール。そのまま試合終了となりました。

南八王子0-3白百合 得点者なし

2試合目もテンポ良く、赤田君が左サイドから再三チャンスメイクします。中盤では山崎君が高いキープ力で3人を相手にドリブル突破するなど良い形が作れていましたが、最後まで詰め切れず。逆にカウンターから裏を取られゴールを許してしまいました。前半終了間際には谷口君が中央キープから右への展開を見せましたがそこまで。

後半には悪い癖が出てきて、誰も声かけのない静かな時間帯が続き、攻撃も散発的なミドルシュートのみとなりました。唯一良い形ができたのは栗橋君から小山君へのパス交換からのオーバーラップのみ。その後2失点を喫し敗戦。1勝1敗の痛み分けという形で決着がつけました。

5年生は昨日の午後練に14名が参加しました。私のモチベーションはさらに上がりました。本当に楽しみです。

“教えるとは共に希望を語ること”と先人が言っています。正にそれを感じます。一生懸命、勉強して教えます。by南のアンパンマン



粘り強い全員サッカーという5年生の特徴がよく出た試合でした。あの白百合相手に勝利した事は一つの成長の印であると思います。但し修正すべき点も散見。1)受け手の声。受け手が声を出さないとパス出来ません。そして声を出す側には受ける準備が出来ていないといけない。つまりどちらにも余裕がないとパスは成立しない。受け手の声は徹底すべきと考えます。2)最後の詰め。最後の最後に左足で蹴れないからチャンスを逃す、蹴れたとしても球威がない。これはシュート練習で地道に鍛え上げていくしかなさそうです。いずれにしてもまだ伸び代のある彼らには大いに期待しています。

By 谷口コーチ

春季カップ2年生

4月10日(日) 桐田G

南八王子1-1狭間 前半1-1 得点 小笠原君

1 pk 2

7. めあての達成

☆チームのめあて

攻めるときは、みんなでボールを追いかけ、守るときはボールの後ろからだけ追わずに、ボールとゴールの間に行く

☆達成度

みんな意識してボールを追いかけていて、数人は守備の時はボールとゴールの間に走って守っていた。

8. コーチ所見

記入者名: 小笠原 教恭

試合結果: 1 vs 1 (1 vs 1) (PK 1 vs 2)

小笠原君はドリブルでのキープ力が成長してきた。渡邊さんはみんなから離れた所からボールを見てこぼれ球の処理ができていた。大澤君のGKは飛び出すタイミングが良くなっていた。

